

平成27年度第4回調布市男女共同参画推進センター運営委員会  
議事録（要旨）

日時 平成28年2月17日（水）午後6時30分～午後8時10分

場所 市民プラザあくろす3階 ホール1

出席者（敬称略 50音順）11人

市古委員，宇治委員，熊崎委員，小宮委員，小森委員，高橋委員，  
田村委員，仁藤委員

（注）内藤委員は12月末退職により退任

オブザーバー

高木センター長（市民活動支援センター），山岸係長（総合防災安全課防災  
係），田口香子（株式会社地域計画連合）

事務局 内田，塚原

1 「Ⅰ提言にあたって」について

(1) Ⅰ文中後段の「女性の様々な課題」について女性に限定してよいか。

ア 男女共同参画推進センターの日頃からの活動という意味で，このま  
までよいのではないか。

イ 「女性の視点で様々な課題」はどうか

(ア) 「女性の視点で様々な課題」はイメージがわからない。

(イ) 「視点」なら「男女共同参画の視点」が良いが，直前に男女共  
同参画推進センターとあり，「男女共同参画」が連続してしまう。

ウ 今の現状では，どちらかというとな女性の課題に取り組んでいること  
が多いのでこのままでよいのではないか。

(2) 後段「女性の様々な課題に取り組んでいる」以降の文を，「男女共  
同参画推進センターの災害時役割について協議検討を重ねてきました。

男女共同参画推進センターとしてその結果を調布市に提言します」に修  
正する

2 「Ⅱ基本的考え方と現状」について

修正案で了承

3 「Ⅲ具体的な調布市の提案」

(1) 1 について

「認識する」を「共通認識を図る」に修正する。

(2) 2 について

修正案で了承

(3) 3 について

避難所運営指針は、提言をもとに作成するリーフレット等を想定しているので、「明確にし」ではなく「作成し」に修正する。

(4) 4 について

ア 「緊急収容」は発災直後に限らず想定されるので、「緊急収容も含めた対応」に修正する。

イ 「顔と顔がつながったセンターの役割」を「センターの役割」に修正する。

ウ DV被害者を加害者から保護するシェルターが必要だと思う。災害時に加害者に会うことは避けてほしいが、そのような意味は提言に含まれているか。

(ア) この施設が今後そのように使用される可能性もあるし、どこに行けばよいか情報提供するということも考えられる。センターがシェルターだとは言えないが、寄り添うセンターであるということを周知していきたい。

(5) 6 について

ア 説明文が4の繰り返しに見える。とても大きな支援のようにも個別の支援のようにもとらえることができて分かりにくい。

(ア) 4は災害直後など短い期間における対応で、6は長期的な対応となることを表現したい。説明文冒頭を、「大災害時の個々の回復には長期間を要し、人それぞれによって大きく異なる。」に修正する。

(イ) 「相談事業」「居場所づくり」「自主サークル活動支援」を並列表記し、この3点を平常時より充実させる。

#### 4 付帯意見

(1) 1 について

修正案で了承

(2) 2 について

ア L G B T の略の説明を記載する。

イ 「情報提供し」を削る

(3) 3 及びⅢ提案 5 について

ア エリア防災を考えた時に「国領駅」という表記は狭いのではないか。

(ア) 地名を出すことで具体的に考えやすい。

(イ) 来年度以降，男女共同参画推進センターと他の施設との連携を検討につなげてほしいという意図がある。

イ 内容については修正案で了承。

ウ 付帯意見ではなく，Ⅲ提案の 2 と 3 の間に記載する。

#### 5 その他意見

(1) 前回，避難所について議論したが，避難所は床面積及び部屋数は十分に足りているという認識か。

ア (オブザーバー) 十分という認識で発言したわけではない。災害時に避難所となる代替施設の確保に努め，それでも足りないということであれば東京都外への避難，個人のボランティアに頼ると発言した。

イ 十分という意味ではない。前回は，避難所の確保は必要であるが，それは全体的なことで，男女共同参画推進センターへの提言に書くことで，内容が薄まってしまわないかという趣旨で発言した。

ウ 分譲マンション等，行政が入るより地域組織と管理組合など当事者同士の方がうまくいく場合もある。

#### 6 2 年間の運営委員会を振り返って

ア 長期間大事な議論ができた。基礎自治体として男女共同参画視点から防災の提言は東京で初めてではないか。提言ができた意義は大きい。一市民としてこれからも見守りたい。

- イ 皆さんの協力でできた。これからも男女共同参画活動を広めてほしい。
- ウ 地区協議会としても防災については色々と取り組んでおり、この度、避難所運営マニュアルを完成させる。ここで学んだことをマニュアルに生かしていきたい
- エ これから地域の仲間たちと話す時にここで学んだことを伝え広めていきたい。
- オ 避難所運営マニュアルを地域の方と作っている。ここで話し合っていることは総合防災安全課でも取り入れ強く働きかけている。ここで話していることがすぐに生きていると実感した。
- カ 2年間でできてよかった。普段の事業のことを検討する運営委員会を今期はこのように災害時のことを考えた2年間であったが今後の事業の中で、男女センターは人権のことを扱っている場と考えているので、今後人権のことをしっかりと考えた事業を大切に、実施していただきたいと思っている。災害時だけでなく親しみやすいセンター、顔と顔がつながったセンターということをぜひ普段の事業の中に取り入れてほしい。今後を見守っていきたい。
- キ きちんとしたものができて、その中に少し関わることでよかったこのようなことを知ったうえで生活していきたい。
- ク 皆さんが時間を費やして完成してくださったものを今後周知していくよう努めたい。